

第1回窯業同窓会合同OB会（白川博士講演・懇親会）

平成20年3月1日（土）13:45～18:00 東工大大岡山 W241 講義室並びに新食堂2階にて、福長脩会長の発案で初めて開催されて、大盛況を収めた。

合同OB会開催の趣旨。

従来窯業同窓会総会や無機材料系研究室毎の卒業生の懇親会が行われていたが、会員の拡大と先輩・後輩の密接な交流の為に学期末に横断的に大学側の先生・学生とOBが一堂に会し先端の学習と懇親を狙いとしました。

第1部 講演会（13:45～15:15）

東工大初のノーベル賞受賞された、白川英樹博士による「導電性ポリアセチレン発見前後の回顧」であった。今回270名入る講義室略一杯で、司会の福長会長と白川博士の登山を通しての親友の繋がりで、進行も滑らかで分り易くユーモア一杯な講義で1時間半はあっという間で有意義な指針に満ち溢れた講演会となった。

概要

- ① 1940年代～60年の米・ソ連から有機半導体（マーカイト）情報に始まり、
- ② 東大（化学）の赤松・井口教授による理学研究から東工大（資源化学）の神原・池田・白川先生による工学的合成化学への展開
- ③ 1975年以降固体物理のHeeger博士と無機化学のMacDiarmid博士および白川先生3名の共同研究とノーベル受賞に到る過程を通して①物理と化学の異種分野②理学（基礎）と工学（応用）の分野③大学（科学）と産業（技術）の分野大きく3方面連携強化が論じられた。これは今後の無機材料工学を目指す研究者、及びセラミック系の企業の開発者・経営者にとり発想・研究・技術分野の戦略上極めて興味ある講義であった。



写真は白川博士の講演会—司会は福長窯業同窓会長（東工大大岡山 W241 講義室）

第2部 合同OB会懇親会（16：00～18：00）

出席者 白川博士以下93名（学生19名を含む）－新食堂2階会場一杯の盛況であった。

福長会長の挨拶―白川博士へのお礼と初めての合同OB会開催での各研究室の先生方と各幹事への感謝で始まり、白川博士のご挨拶を頂き次いで鈴木弘茂同窓会相談役の挨拶と乾杯の発声で和やか且つ活発な交流の会が展開された。

先ず最初に①松尾陽太郎教授、次いで②柴田修一教授、③鶴見敬章教授、④岡田清教授、⑤田中順三教授⑥吉村昌弘教授と順不同でご出席中の先生方に最近の研究室の動向や参加されたOBの皆さんへの歓迎を次々述べて頂き交流を盛り上げていただきました。

学生の参加も多く白川博士には講演会に続いての質問や歓談で宴は大層盛り上がり、そして先生を囲んでの記念撮影に応じて頂き感謝しております。最後に原田賢先輩の元気な三三七拍子に依る中締めと全員の記念撮影をすませ来年も再会したいとの希望に支えられ、今回の窯業同窓会合同OB会は目出度く幕を閉じた。

以上

平成20年3月17日 文責 副会長 尾島正男



写真は白川博士を囲んでの懇親会（新食堂2階）と学生諸君の記念撮影（講義室）。